

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年12月4日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年12月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉(A)火炎検出器リレーの不具合について】 当社社員が、雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉(A)の起動前バーナ着火試験において、パイロットバーナの着火不良を確認。 当該バーナのパバーナチップ内部の清掃を実施し着火を確認したが、メインバーナの点火に移行しないことを確認。 現場調査の結果、メインバーナの点火に必要な火炎検出器リレーに不具合があることを確認。 今後、当該リレーを交換予定。</p>	GⅢ	11月30日
2	<p>【6号機原子炉建屋補機冷却系熱交換器(A)海水出入口弁のシート漏えいについて】 当社運転員が、2024年4月から予定している6号機原子炉建屋補機冷却系熱交換器(A)の点検作業に伴い、事前にシート漏えい確認のため海水出入口弁を閉操作した際、当該弁のシート漏えいを確認。 なお、当該弁は通常開運用のため、原子炉建屋補機冷却系の運用に影響はない。 2024年1月から3月までに予定されている海水系全停作業に合わせて、当該弁の点検を実施。</p>	GⅢ	11月28日